

## ネイティブヒトアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0950

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** ASTは、肝臓、心臓、筋肉、腎臓、脳など、体の多くの組織に存在します。これらの臓器や組織のいずれかが病気や怪我の影響を受けると、ASTは血流に放出されます。これは、ASTがALT（アラニンアミノトランスフェラーゼとしても知られ、ほぼ完全に肝臓に存在する別のタイプの酵素）のように肝臓の損傷の特異的な指標ではないことを意味します。

**用途** 診断コントロール; キャリブレーターと標準; 免疫測定; 臨床化学; テスト/アッセイバリデーション; ライフサイエンス; ELISA; プロットイング; 特性評価

**別名** アスパラギン酸トランスアミナーゼ; グルタミン酸オキサロ酢酸; AST; GOT; Sgot; AspAT; ASAT; AAT; 血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ

### 製品情報

種	人間
由来	人間の心臓
形態	凍結乾燥された
EC番号	EC 2.6.1.1
CAS登録番号	9000-97-9
分子量	~92,000
純度	精製された（コントロールグレード）
活性	> 5 U/mg
混入物	ALT/GPT: < 2% CPK: < 5% LDH: < 1% 注: カスタム精製が可能です
単位定義	1ユニットは、37°CおよびpH 7.8で、1分あたり1マイクロモルのL-アスパラギン酸をα-ケトグルタル酸にトランスアミナーゼし、L-グルタミン酸とオキサロ酢酸を形成します。結合反応によって生成された1等モルのNADとして340 nmで測定されます。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°Cで保管してください

**安定性** 2年